

科目名	スポーツ傷害理学療法学	担当教員	山中正紀 小林匠 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	---------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	講義

科目概要	スポーツ傷害に対する理学療法のニーズは年々高まっている。本科目では、各関節のスポーツ傷害に関する基本的知識と各傷害に対する理学療法の評価と治療に関して学習する。
学習目標	代表的なスポーツ外傷および障害に関する基本的な知識を理解する。 代表的なスポーツ外傷および障害に対する理学療法の評価と治療に必要な知識を理解する。 代表的なテーピング手技に関する知識を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	スポーツ外傷・障害に対する理学療法評価と治療の概要	スポーツ外傷・障害に対する理学療法とスポーツ特異的な動作に関して理解する。	
2	股関節損傷	股関節周囲のスポーツ外傷・障害に対する理学療法	グロインペイン症候群や Femoroacetabular Impingement (FAI)、ハムストリングス肉ばなれなどの股関節周囲の代表的なスポーツ傷害に対する理学療法を理解する。	
3	膝関節損傷	膝関節周囲のスポーツ外傷・障害に対する理学療法	膝前十字靭帯損傷や内側側副靭帯損傷、半月板損傷などの外傷とジャンパー膝や腸脛靭帯炎、オスグッド・シュラッター病などの障害に対する理学療法を理解する。	
4	足部・足関節損傷	足部・足関節周囲のスポーツ外傷・障害に対する理学療法	足関節捻挫や下腿・足部の疲労骨折などの足部・足関節周囲の代表的なスポーツ傷害に対する理学療法を理解する。	
5	肩・肘関節損傷	肩・肘関節周囲のスポーツ外傷・障害に対する理学療法	投球障害肩や肩関節脱臼、野球肘、テニス肘などの肩・肘関節周囲の代表的なスポーツ傷害に対する理学療法を理解する。	
6	体幹損傷	体幹のスポーツ外傷・障害に対する理学療法	腰椎分離症や腰椎椎間板ヘルニア、非特異的腰痛症などのスポーツ傷害に対する理学療法を理解する。	
7	テーピング①	膝関節靭帯損傷に対するテーピング	膝前十字靭帯損傷や内側側副靭帯損傷に対するテーピングの意義と手技を理解する。	
8	テーピング②	足関節捻挫に対するテーピング	足関節捻挫に対するテーピングの意義と手技を理解する。	
評価方法		筆記試験・レポート課題		
教科図書		スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド 第2版（臨床スポーツ医学編集委員会）		
参考図書		復帰をめざすスポーツ整形外科、メジカルビュー社 下肢スポーツ外傷のリハビリテーションとリコンディショニング、文光堂 腰痛のリハビリテーションとリコンディショニング、文光堂 投球障害のリハビリテーションとリコンディショニング、文光堂 競技種目特性からみたリハビリテーションとリコンディショニング、文光堂		
学習の準備		運動器障害基礎論の内容を復習しておいてください。		
オフィスアワー		在室時はいつでも可能		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--